

PSPインベストメントについて

The Public Sector Pension Investment Board (PSPまたはPSPインベストメント)は2021年3月末現在、2,045億ドルの純資産を運用するカナダ最大の年金投資運用会社の一つです。連邦公務員、カナダ軍、王立カナダ騎馬警察、予備軍の年金制度の義務を全うするため、90万人以上の現職及び退職者の年金資産を運用しています。



課題

- 従来のESG評価からデータ主導のESG評価に変換する必要性
- 独自のESGデータを拡張し、保有銘柄を長期的にモニタリングする必要性
- 現在および将来の価値を高めるESG要素を取り入れる必要性



ソリューション

- 独自のESG複合スコアリング手法の構築
- カスタマイズ、データ管理のアウトソーシング、ユーザ毎に対応したサポート



結果

- ESG精度、リアルタイム分析、複合スコアリングの向上
- ファンダメンタル分析とESG分析の融合の促進
- 無形資産と企業価値に影響を与える要因をリアルタイムで把握

PSPインベストメント、ファクトセットとTruvalue LabsのワークフローソリューションでESG複合スコアの構築を実現

PSPはファクトセットとTruvalue Labsのワークフローソリューションを使用して責任投資フレームワークにダイナミックマテリアリティを組み入れます。

課題

PSPの責任投資アプローチの中心にあるのは、ESG要素を特定し、モニタリング、活用することが長期的なパフォーマンスにとって重要であるという投資概念です。

PSPの責任投資グループは、責任投資のフレームワークが今日の企業価値を高めるESG要素だけでなく、将来の企業価値を高める可能性が高いESG要素に対する理解を深めるものではないと認識していました。

このような明確なニーズに基づいて、PSPは多くの課題に直面していました。まず、ESG評価を意思決定に有用なデータ主導の洞察に変換できるESG複合スコアを開発するための高度な技術を求めていました。また、ESG統合プロセスを全社的に拡張し、保有銘柄を長期的にモニタリングできるデータ主導型のスコアリングソリューションを設計する必要性がありました。

さらに、従来は何百ページにもおよぶ調査報告書やサステナビリティレポートに記載されているデータを一元化して集計できる定量的データに変換し、さらにデューデリジェンス・プロセスにおけるESG要素のマテリアリティの動的な性質を考慮する必要がありました。

ソリューション

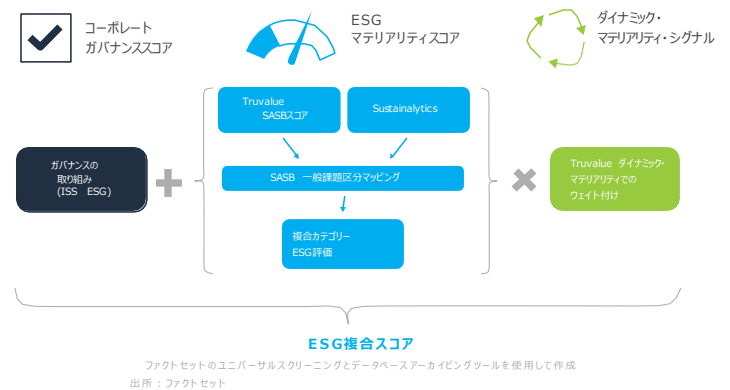
責任投資グループは、ファクトセットの革新的なデータソリューションを活用して独自のスコアリング手法を開発しました。この手法は、PSPのポートフォリオ銘柄のESGパフォーマンスを監視し、リスクを軽減して価値を創造する機会を特定するという2つのことを実現しました。

PSP独自のESG複合スコアは、重要なESGリスクと機会を体系的に特定することができます。また、Truvalue Labsの人工知能(AI)のスクリーニングツールは、ステークホルダーのセンチメントを把握するアルゴリズムによって、これらのESGリスクと機会の重要性を動的に測定できます。提供するデータを可能な限り正確かつタイムリーにするため、Truvalue Labsは13か国以上、10万以上の情報元から収集した毎月数百万件の文書からデータを抽出、分析、スコア生成を行っています。情報元にはニュース、業界誌、非政府組織(NGO)、監視団体、業界ブログ、業界レポートなどが含まれます。

ファクトセットのユニバーサルスクリーニングとデータ・ウェアハウス・ツールは2つの要素から構成される高度にカスタマイズされたスコアの開発に役立てられました。1つ目は、ISSのESGデータを使用して、コーポレート・ガバナンスの実践を定量的に評価するものです。2つ目はESGパフォーマンスの動的尺度(すなわちESG重要度スコア)を生成するものです。PSPはSASB基準の一般課題区分のマッピングに着目し、Truvalue LabsとSustainalyticsのESGデータを組み合わせ両社のスコアを比較できるようにしました。

最終的に、PSPは業界のESGカテゴリーのパフォーマンスデータとTruvalue Labs独自のダイナミック・マテリアリティの計算を使用してESGスコアのウェイト付けを行っています。ダイナミック・マテリアリティとは、企業、業界、セクターが独自のESGマテリアリティを持ち、それは時間の経過とともに変化し、ビジネスモデルのシフト、消費者嗜好の変化、新しいテクノロジー、新しい規制などの要因によって決定されるという概念です。これは、マテリアリティが比較的静的で企業によって定義されるという見方は対照的です。リアルタイムの分析に動的な重要性を組み込むことで、ユーザはスコアを組み合わせる際に客観的なウェイト付けを決定でき、最も重要な問題が最も注目されていることを確認することができます。動的なウェイト付けとESGスコアの両方は、ステークホルダーのセンチメントの変化をリアルタイムでとらえるために毎日更新されます。

ESG複合スコアの構成要素



ESG複合スコアのスコアリング方法における真のパラダイムシフトはTruvalue LabsのAI駆動型のダイナミック・マテリアリティの計算に基づいた各ESGカテゴリー要素の動的ウェイト付けから来ています。このスコアは責任投資グループのESGデューデリジェンスプロセスを定量的に再現するように設計されています。

各発行体は独自のコーポレート・ガバナンスとESGの重要性のスコアを取得し、別々に分析したり、ESG複合スコアを使用して報告書にまとめることができます。すべてのデータはFactSet Workstationに統合され、各投資ポートフォリオと各ベンチマークとの比較に関するカスタムレポートを簡単に作成できるようになりました。また、特定のコーポレート・ガバナンスの柱や、SASB基準の5つの局面(環境、社会資本、人的資本、ビジネスモデルとイノベーション、リーダーシップとガバナンス)と26の持続可能性関連のビジネス課題(=一般課題カテゴリー)に基づいてスコアを検討することも可能となりました。今回は、5つの局面のそれぞれについてESG複合スコアの分解を監視することで、企業価値を十分に理解するためには、「社会的資本」と「人的資本」が重要であることが明らかになりました。

ファクトセットとTruvalue Labsが提供する機能により、PSPはダイナミック・マテリアリティを活用して革新的なESGデータを作成し、開示情報を意思決定に有用な洞察に変換しています。

結果

SASB基準のマテリアリティ・フレームワークに基づく独自のESG複合スコアや、ダイナミック・マテリアリティの指標を導入して以来、PSPのESGデータの拡張と統合の能力は全く新しいレベルに到達しています。

PSPはファンダメンタル分析とESG分析の融合を加速させ、無形資産と企業価値に影響を与える要因に初めてリアルタイムにアクセスできるようになりました。さらに、ESG複合スコアは、発行体やポートフォリオのベンチマークに使用され、また、従来の財務情報の分析に湯維持したトレンドやモメンタムをとらえ、ファンダメンタル分析の補完的な側面として機能しています。データに基づく洞察の生成により、PSPは新しい投資アイデアを特定し、発行体を選定、アルファの生成に貢献し、最終的に組織全体の知識共有の強化することができました。

これらの新しい機能によって、PSPはダイナミック・マテリアリティを活用して革新的なESGデータを作成し、開示された情報を意思決定に有用な洞察に変換しています。

DISCOVER SOLUTIONS

ファクトセットは、世界中の投資家向けにデータおよびテクノロジー・ソリューションを提供し、投資家が重要な意思決定を行う際に利用する金融データや分析に即座にアクセスできるようにしています。

Truvalue Labs
SASB Scores
DataFeed

ESGのポジティブイベントとネガティブイベントの両方を毎日モニタリングします。

[GET STARTED](#)

Truvalue Labs
SASB Spotlight
DataFeed

ESGに関する論争や機会について、毎日のヘッドライン、記事の要約、スコアを確認できます。

[GET STARTED](#)